

地域医療への貢献

第25期 中間報告
2016年4月1日 ▶ 2016年9月30日
株主通信



SHIP HEALTHCARE

シップヘルスケアホールディングス株式会社

生命を守る人の環境づくり

証券コード：3360



代表取締役会長 (CEO)

古川 國久



代表取締役社長 (COO)

小川 宏隆

『成長』と『進化』はとまらない

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、長期目標として連結売上高1兆円を掲げております。この達成に向けては、各事業のスケールアップ、イノベーションが欠かせません。また、グループ間の連携、サービス品質の平準化、業務管理の徹底など、グループ全体としての価値向上に努めていくことも重要となっております。

このような視点の下、当期は「ゼロリセット」を経営のテーマに据えて、原点に立ち戻り、様々な取り組みを加速しております。

現在、当社グループを取り巻く環境としては、診療報酬、薬価改定が実施され、診療報酬全体として2008年度以来のマイナス改定となったことがあげられます。また、2014年度の「医療介護総合確保推進法」の成立など、医療機関の機能・役割の分化・連携をともなう「地域包括ケアシステム」の推進が打ち出され、従来の点（単独の医療機関）のリニューアルから、面（地域全体）の医療・介護のネットワーク構築へと市場はより厳しく、大きく変化してきております。こうした中、市場そのものの質的变化によりもたらされる新たな概念やシステムに、いかに短期間で対応していけるかが大きな課題となっております。

当社グループは、医療機関の新築・移転・リニューアル分野において、既に多くの実績とノウハウを積み重ねておりますが、旬な市場においても企画力、現場力、プロデュース力を体系的に築き上げ、質的变化を捉えてまいります。そして、これらの諸施策の原動力は人材であることを強く認識し、SHIPの理念のもと人間としてのあり方“SH”と企業としてのあり方“IP”をグループ全体に浸透させ、グループ内のイノベーションを図ってまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

◆ グループ理念

SHIP

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

◆ 基本姿勢

し せい そく だつ
至 誠 惻 怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

グループ全体で、変化への対応を推進

業績について

概ね期初計画どおりの進捗

当第2四半期の状況といたしましては、トータルバックプロデュース(TPP)事業で期初計画に対して、一部の案件が前倒しで計上されると同時に、2016年4月に実施いたしました小西共和ホールディング株式会社との経営統合による新規連結会社の業績寄与などにより、売上高は前年同期比40.3%増の1,875億円と大幅な増収となりました。また、収益面につきましても、上記経営統合の費用を計上したものの、介護系メーカーにおいて経営改革効果が上がったことなどにより、営業利益で15.4%、親会社株主に帰属する四半期純利益で16.4%の増益となり、期初計画に対して概ね予想どおり進捗いたしました。このような状況の下、通期目標の達成に向けて、一層の営業努力を行ってまいります。

なお、1株当たりの配当金につきましては、前期末配当金より1円増配の56円を予定しております。

◆ 業績結果 (単位：百万円)

	期初予想 (2016年5月13日発表)	2016/9実績 (当第2四半期)	増減率
売上高	177,000	187,550	6.0%
営業利益	4,100	5,661	38.1%
経常利益	4,200	5,869	39.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,200	3,155	43.4%

グループ経営基盤の強化

“ゼロリセット”グループ経営の強化と改革を加速

当社のグループ経営は、“自立自主”を基本としておりますが、大きく市場が質的变化を遂げる中、グループとしての考え方、方向感の共有、そして迅速な経営判断と確実な諸施策の執行に向けて、経営体制を強化しております。その一環として、本年6月に組織改革を行ない、「秘書室」「法務室」を新たに設置すると同時に、既存の各室の機能・権限を拡充しグループ全体のガバナンスを強化しております。一方、当社グループの持続的成長の要となる理念の共有と人材の育成につきましては、研修などの啓蒙活動を通じグループ全体で進めております。



第131回金剛山研修



研修風景

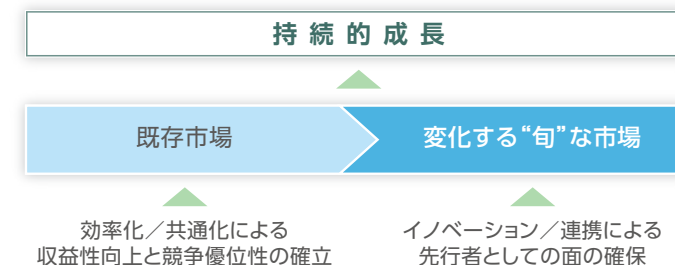
持続的成長に向けて

各分野でのイノベーションを推進

当社グループの成長の源は“旬”な市場への挑戦です。今、市場が激変する中、グループの新たな挑戦が始まっております。特にTPP事業のフィールドは、病院単独のプロデュースから地域医療全体へと拡大してきております。このため、従来のコンサルティングや商社系機能に加え、IT系・メーカー系が連携し、ソフトからハードまで一貫したサポート体制の構築に取り組んでおります。また、メディカルサプライ(MSP)事業においては、小西共和ホールディング株式会社との経営統合などを契機に、受注案件が増加する中、案件管理の精度を高めていくことが課題となっております。一方、連結売上高1兆円達成に向けた第5の柱でありますヘルスケアサービス事業では、「大阪重粒子線センター」(仮称)における治療施設の建設や海外での事業展開が進んでおります。

当社グループは、持続的成長に向けて、様々なイノベーションに挑戦し、次なるステージへ進化を遂げてまいります。

◆ 成長へのフレーム

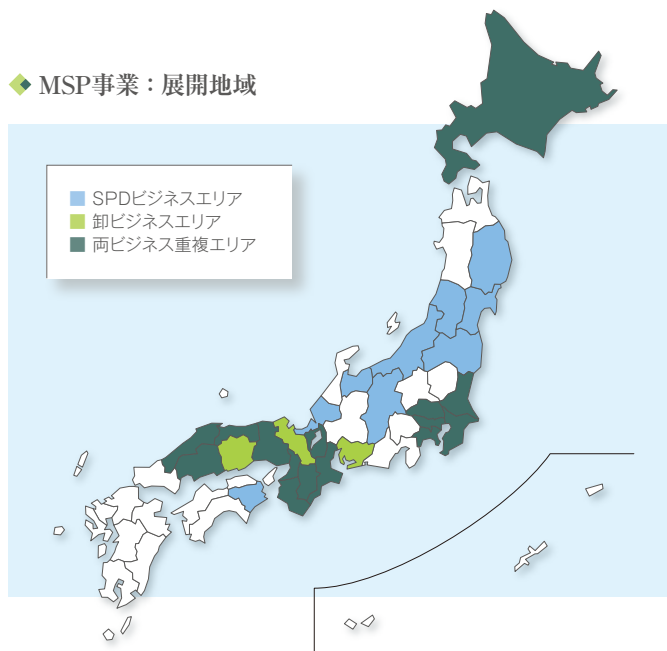


小西共和グループとの経営統合後の状況

一体化が完了し、 シナジー効果の発揮へ

医療機器販売を中心に事業を展開する老舗の小西共和グループと2016年4月に経営統合を実施いたしました。この経営統合により、大阪府を始め、グループとしての事業基盤がさらに強化されております。現在、人材を始め、情報網、顧客基盤、ITシステム・商品マスターなどの融合・統合を進めており、収益力の向上や新規案件の受注、他の事業とのシナジー発揮につなげてまいります。当社グループは、今後も激動する経営環境の中で、M&Aやアライアンスを通じて、業界のリーディングカンパニーとしての地位を確固たるものにしてまいります。

◆ MSP事業：展開地域



国際法務総合センターの運営業務を受託

移転集約に基づく同センターの 維持管理・運営事業を受託

この度、グリーンホスピタルサプライ株式会社(GHS)を中心とする当社グループがPFI*手法を用いた国際法務総合センターの維持管理・運営事業の民間委託について、2016年10月に落札いたしました。同事業は運営に特化したPFI事業(施設建設は国が実施)として入札されましたが、GHSを代表企業とするコンソーシアムが総合評価落札方式により選定され受託いたしました。同事業には、GHSのほか、当社グループのシップヘルスケアフード株式会社、株式会社エフエスユニマネジメントが参画しており、医療機器の販売・保守、給食・食事の提供、SPD業務などを展開する予定です。

* PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)とは、公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るというものです。

◆ 事業対象施設 イメージ図



事業地	東京都昭島市築地町(敷地面積:約9.1万㎡)
事業期間	約11年間(運営期間:約10年間)
スケジュール(予定)	平成27年度 実施方針公表 平成28年度 事業者決定、契約締結 平成29年度 運営開始

サービス分野の業務拡張

人的警備事業を中核とする 日本パナユーズ株式会社を子会社化

当社グループは、TPP事業、MSP事業などを通じて多くの医療機関とパートナーシップを築いておりますが、長期目標として掲げる連結売上高1兆円の達成には、サービス分野での事業拡張が不可欠となっております。こうした中、医療機関からの要望も多い施設の管理業務につき、事業展開の礎を築く上で、警備事業を中核事業とする日本パナユーズ株式会社を2016年8月にグループに迎え入れました。今後、同社のグループ参画をもとに、病院施設などの管理業務への展開を検討してまいります。

◆ 日本パナユーズ株式会社：概要

創業	1971年4月
本社	大阪市港区築港3丁目5番12号
代表	高橋 強
事業内容	警備業・人材派遣業
主な受託先	あべのハルカス、関西国際空港

※警備受託事例:関西国際空港



※警備受託事例:あべのハルカス



大阪重粒子線センター（仮称）の進捗

重粒子がん治療施設の準備が順調に進行

2018年度の開設を予定し、隣接する大阪国際がんセンター（現大阪府立成人病センター）との事業連携の下、準備を進めている大阪重粒子線センターの建設・運営体制の整備が順調に進行しております。同施設は全国で6番目、民間主導の民設・民営の施設としては国内初となるものです。当社グループは、ヘルスケアサービス事業を第5の柱に据えており、重粒子がん治療施設運営を始め、海外での事業などサービス事業を強化してまいります。



重粒子がん治療施設内観（工事中）



遮蔽躯体の工事が完了（2016年9月下旬撮影）

低濃度オゾン消臭機Airness（エアネス）の発売

低濃度オゾン消臭機「エアネス」の医療・福祉施設向け独占販売権を取得

Airness



当社グループは、連結子会社シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社を総販売元として、グループ全体で低濃度オゾン消臭機「エアネス」を2016年10月から販売しております。この「エアネス」は、小型・軽量であるとともに、『多重リング式コロナ放電』の特許技術を搭載し、空気中の酸素や水蒸気などから『低濃度拡散オゾン』と『マイナスイオン気流』を発生させ、その気流に乗せてオゾン拡散させる構造です。この構造により、ファンが無く回転部品の故障リスクはゼロです。また、フィルタが無いため目詰まりによる吸引力低下も起きません。当社グループは、空気環境への課題意識が高まる中、空気環境の最適化をお手伝いするエアネスを通じて、『生命を守る人の環境づくり』を実践してまいります。



Airness
特設サイト

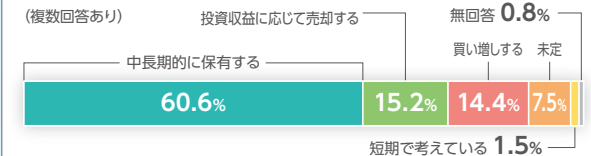
<http://www.airness.jp>

アンケートへのご協力ありがとうございました。

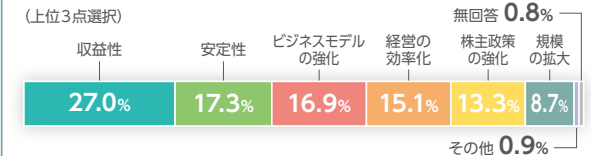
第24期株主通信において株主の皆さまへのアンケートを実施いたしました結果、574名の方々よりご回答を頂戴いたしました（2016年9月30日現在）。ご協力を心より感謝申し上げます。

集計結果や株主の皆さまのお声の一部を、ここにご紹介いたします。

◆ 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。



◆ 当社経営に関して、何を重視すべきと思われるですか？



◆ その他様々なご意見の一部

- 「ヘルスケア産業のリーダー」期待しています。
- コンプライアンスをしっかりと守って下さい。
- 新しいビジネスモデルに挑戦して下さい。
- 株主優待は検討されていますか。
- 5年後の御社の総合力をとても楽しみにしています。
- 「至誠惻怛」のことは、気に入ってます！

今回のアンケートにおきましても、株主の皆さまより多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。今後もシップヘルスケアグループへのご理解をより一層深めていただけますようIR活動にも積極的に努めてまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

◆ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 2016年9月30日現在	前第2四半期 2015年9月30日現在	前 期 2016年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	143,227	116,645	140,137
現金及び預金	42,728	35,678	36,255
受取手形及び売掛金	69,683	53,873	78,302
商品及び製品	12,875	8,839	8,074
仕掛品	1,757	2,704	1,763
その他	16,265	15,621	15,826
貸倒引当金	△ 83	△ 73	△ 84
固定資産	88,482	69,454	78,270
有形固定資産	51,194	39,131	43,723
建物及び構築物(純額)	15,030	13,161	12,888
土地	15,030	8,587	12,401
賃貸不動産(純額)	12,575	12,572	12,410
その他(純額)	8,556	4,809	6,022
無形固定資産	13,531	12,971	12,302
投資その他の資産	23,756	17,351	22,244
繰延資産	32	64	48
株式交付費	32	64	48
資産合計	231,743	186,164	218,456

	当第2四半期 2016年9月30日現在	前第2四半期 2015年9月30日現在	前 期 2016年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債	108,063	74,889	99,105
支払手形及び買掛金	65,799	52,418	71,074
短期借入金	10,620	1,665	1,615
未払法人税等	2,475	1,931	3,255
賞与引当金	1,874	1,538	1,532
その他	27,293	17,336	21,628
固定負債	38,273	35,774	37,827
社債	2,050	2,055	2,050
長期借入金	28,663	27,761	29,168
退職給付に係る負債	2,463	1,940	2,080
その他	5,096	4,017	4,528
負債合計	146,337	110,663	136,933
【純資産の部】			
株主資本	83,626	73,691	79,828
資本金	15,553	15,553	15,553
資本剰余金	23,716	20,356	20,356
利益剰余金	44,804	38,229	44,366
自己株式	△ 448	△ 447	△ 448
その他の包括利益累計額	1,202	1,342	1,166
非支配株主持分	577	466	528
純資産合計	85,406	75,500	81,522
負債純資産合計	231,743	186,164	218,456

◆ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2016年4月1日～ 2016年9月30日	前第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	前 期 2015年4月1日～ 2016年3月31日
売上高	187,550	133,720	306,853
売上原価	167,470	117,824	270,181
売上総利益	20,079	15,896	36,671
販売費及び一般管理費	14,417	10,988	22,622
営業利益	5,661	4,907	14,049
営業外収益	624	642	1,119
営業外費用	416	228	430
経常利益	5,869	5,321	14,737
特別利益	88	4	126
特別損失	298	377	1,174
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,659	4,949	13,690
法人税等合計	2,435	2,184	4,726
四半期(当期)純利益	3,224	2,765	8,963
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	69	54	116
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	3,155	2,710	8,847

◆ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 2016年4月1日～ 2016年9月30日	前第2四半期 2015年4月1日～ 2015年9月30日	前 期 2015年4月1日～ 2016年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	6,917	6,839	16,708
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 4,433	△ 4,313	△ 14,913
財務活動による キャッシュ・フロー	4,073	△ 5,319	△ 4,013
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 103	△ 2	△ 18
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	6,454	△ 2,795	△ 2,236
現金及び現金同等物の 期首残高	35,518	37,755	37,755
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	41,973	34,959	35,518

◆ 主な経営指標の推移 [日本基準] (連結)

(単位: 百万円)

	2014/3	2015/3	2015/9	2016/3	2016/9 当第2四半期	2017/3 (通期予想)
売上高	259,189	273,327	133,720	306,853	187,550	418,000
営業利益	13,857	13,597	4,907	14,049	5,661	15,800
経常利益	14,754	13,910	5,321	14,737	5,869	16,100
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	8,523	7,472	2,710	8,847	3,155	9,400
総資産	173,393	202,562	186,164	218,456	231,743	—
純資産	47,621	75,864	75,500	81,522	85,406	—

◆ セグメント情報 (2016年4月1日～2016年9月30日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、病院完成案件は下期に偏重しているものの、プロジェクト案件については期初計画より一部前倒しで計上されたとともに、介護系メーカーについても回復基調で推移いたしました。

この結果、売上高は36,490百万円(前年同四半期連結累計期間比7.6%減)、セグメント利益(営業利益)は3,305百万円(前年同四半期連結累計期間比11.5%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、償還価格の改定の影響を受けたものの、小西共和ホールディング株式会社との経営統合を実施したこと、新規SPD施設の運営受託したこと等により大幅に増収となりました。

この結果、売上高は126,992百万円(前年

同四半期連結累計期間比77.1%増)、セグメント利益(営業利益)は1,058百万円(前年同四半期連結累計期間比12.8%増)となりました。

ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、全国施設の一体型経営が進捗したことにより業務改善が図られたこと及び、昨年度において不採算デイサービス拠点の閉鎖等を実施したこと等により大幅に収益が改善いたしました。

この結果、売上高は10,497百万円(前年同四半期連結累計期間比5.0%増)、セグメント利益(営業利益)は326百万円(前年同四半期連結累計期間比428.3%増)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、昨年度実施したM&Aや新規出店等により増収となりましたが、調剤報酬改定の影響を受け減益となり

ました。一方で、既存店舗の効率化や、かかりつけ薬局の認定が進んだことも奏功し、第1四半期連結累計期間と比べ減益率が大幅に縮小いたしました。

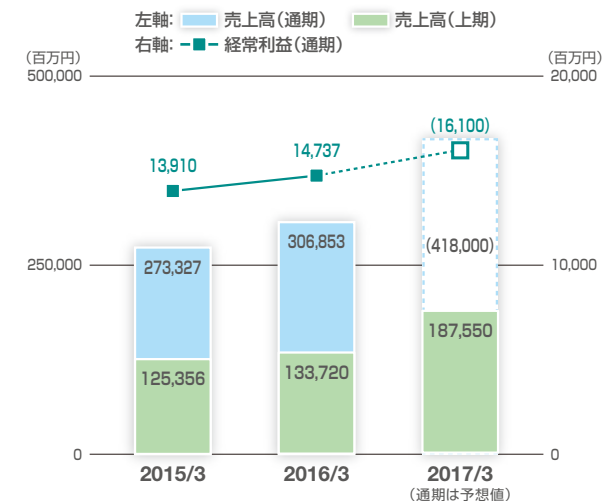
この結果、売上高は11,858百万円(前年同四半期連結累計期間比1.0%増)、セグメント利益(営業利益)は1,044百万円(前年同四半期連結累計期間比4.4%減)となりました。

その他

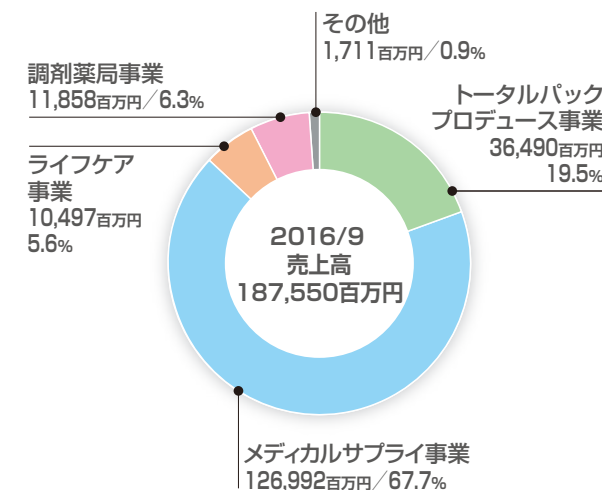
その他におきましては、日本パナユーズ株式会社1社をグループ化したこと、動物病院の運営が概ね計画通り進捗したこと等により増収となりました。一方で、理化学機器の販売が当初計画を下回ったこと等により減益となりました。

この結果、売上高は1,711百万円(前年同四半期連結累計期間比116.5%増)、セグメント利益(営業利益)は52百万円(前年同四半期連結累計期間比16.3%減)となりました。

業績トレンド



セグメント別売上高構成比 (2016/9)



会社情報

(2016年9月30日現在)

◆ 会社概要

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
 設立 1992年8月
 代表取締役会長 (CEO) 古川 國久
 代表取締役社長 (COO) 小川 宏隆
 資本金 155億5,301万円
 決算月 3月
 従業員数 連結 5,799名(正社員) 10,638名(従業員)
 本社所在地 〒565-0853
 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL: 06-6369-0130
 FAX: 06-6369-3191

◆ 役員

代表取締役会長 (CEO)	古川 國久
代表取締役副会長	小西 賢三
代表取締役社長 (COO)	小川 宏隆
代表取締役副社長	大橋 浩一
取締役副社長	沖本 浩一
専務取締役	増田 順
専務取締役	小林 宏行
常務取締役	横山 裕司
常務取締役	細川 賢治
取締役	早川 澄
取締役	和田 義昭
取締役(社外)	岩元 廣志
常勤監査役(社外)	中尾 秀光
社外監査役	大山 博康
社外監査役	大内 陽一郎

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで…

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL: 06-6369-0130 (IR窓口) FAX: 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)

<http://www.shiphd.co.jp/>



株式関連情報

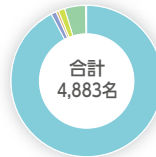
(2016年9月30日現在)

◆ 株式の状況

発行可能株式総数.....64,000千株
 発行済株式総数.....50,834千株
 株主数.....4,883名

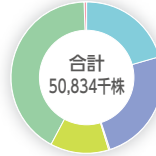
◆ 株式分布状況

株式分布状況 (株主数別)



個人・その他	金融機関	金融商品取引業者	その他法人	外国法人等	自己名義株
4,515名	46名	31名	65名	225名	1名
92.46%	0.94%	0.64%	1.33%	4.61%	0.02%

株式分布状況 (株式数別)



個人・その他	金融機関	金融商品取引業者	その他法人	外国法人等	自己名義株
10,475千株	12,513千株	150千株	6,285千株	21,174千株	235千株
20.61%	24.62%	0.30%	12.36%	41.65%	0.46%

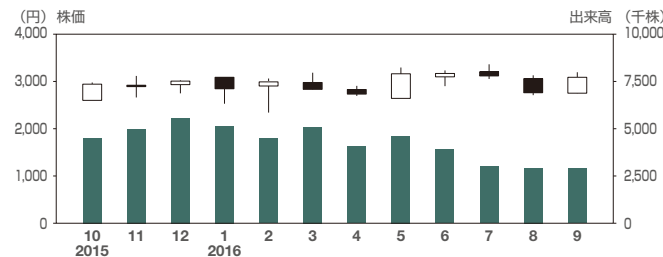
※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

◆ 大株主の状況

	[持株数]	[持株比率]
株式会社コッコー	3,988千株	7.88%
CBNY-ORBIS SICAV	3,890千株	7.69%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,799千株	5.53%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,798千株	5.53%
春日興産合同会社	1,400千株	2.77%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,317千株	2.60%
古川 國久	1,236千株	2.44%
古川 幸一郎	1,230千株	2.43%
全国共済農業協同組合連合会	1,046千株	2.07%
THE CHASE MANHATTAN BANK 385036	1,033千株	2.04%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。※ 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

◆ 株価・出来高の推移



株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
 期末配当金受領 3月31日
 株主確定日 毎年6月中
 定時株主総会 三菱UFJ信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 及び特別口座の口座管理機関 2015年10月1日をもって特別口座の口座管理機関を変更しております。なお、株主名簿管理人については変更ございません。
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



IR Info ▶ In-depth Company Report Link to Shared Research

For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc. Please check <http://www.sharedresearch.jp/en/3360> to view the report.